宮城県石巻保健所登米支所手洗いチェッカー貸出要領

(趣旨)

第1 この要領は、感染症予防の普及啓発を図るため、手洗いチェッカーの無償貸出について、必要な事項を定めるものとする。

(貸出対象者)

第2 手洗いチェッカーの貸出対象者は、石巻保健所登米支所管内に住所又は事業所等を持ち、インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症を予防するため学習会等を行う個人及び団体（以下「利用者」という。）とする。

(貸出台数)

第3 手洗いチェッカーの貸出台数は1回につき1台とする。ただし、石巻保健所長（以下「所長」という。）が特別の事情があると認めるときは、この限りではない。

(手続き)

第4 手洗いチェッカーの貸出を受けようとする利用者は、みやぎ電子申請サービス（手洗いチェッカー利用申請）により、利用を希望する日の1週間前までに申請しなければならない。

2 所長は申請書の内容を審査し、適当と認める時は貸出を許可し、その旨を利用者に連絡する。

(貸出期間)

第5 貸出期間は、利用日及び利用日の前後1日間を含む3日間とする。

(目的外利用の禁止等)

第6 手洗いチェッカーの貸出を受けた利用者は、許可を受けた目的以外に利用又はその権利を第三者に譲渡若しくは転貸してはならない。

(利用の制限)

第7 所長は、第4条の許可に当たり、次に掲げる事項の一つ以上に該当する場合は、手洗いチェッカーの貸出を許可しないものとする。

- (1) 保健所の事業に支障があるとき。
- (2) 営利を目的とするもの又はこれに類するものの利用に供するとき。
- (3) 公序良俗その他公共の福祉に反するとき。
- (4) 危険又は棄損のおそれがあるとき。

(利用者の責任)

第8 利用者は、手洗いチェッカー利用上の事故について一切の責任を負わなければならない。

2 貸出期間中の手洗いチェッカーの維持管理は、利用者の責任において行わなければならない。

3 手洗いチェッカーを破損、汚損又は紛失したときは、利用者の負担において原形に復し、又は現品をもって弁償しなければならない。ただし、所長が特別の事情があると認めるときは、この限りではない。

(手洗いチェッカーの返納)

第9 利用者は、手洗いチェッカーの利用を終了したときは、速やかにみやぎ電子申請サービス（手洗いチェッカー利用報告）にて報告するとともに、手洗いチェッカーを返却し、破損等の異常の有無について所長の確認を受けなければならない。

附 則

この要領は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和7年5月12日から施行する。